

# 協同組合人

2014.10

京都府協同組合連絡協議会ニュース

NO.70

京都府協同組合連絡協議会  
はJA(農協)、JF(漁協)、  
森林組合、生協等の京都府  
内の協同組合運動相互の  
連絡提携、共通課題の実行  
を目的に活動をすすめてい  
ます。

## 人いきいき



### 丹後地区森林組合

業務課 技師 中村 俊彦 さん

#### ●プロフィール●

平成2年7月生まれ(24歳)

京都府京丹後市久美浜町出身

平成25年4月 丹後地区森林組合に就職

現在、可愛い花嫁募集中です

京都府の最北部に位置する丹後半島。そのほぼ中央にある京丹後市弥栄町の丹後地区森林組合に入社2年目、期待の若手職員中村俊彦さんを訪ねました。

中村さんは大学時代、森林科学を専攻し、山岳部に所属。森林にたずさわることならほかにもあるのに、どうして森林組合だったのでしょうか？それは高校2年生の時、ある一冊の本との出逢いがきっかけでした。

その本を読んで初めて、森林・林業の危機的な状況を知ります。「山を守りたい。」

なんとかしないと…」という思いが芽生えた瞬間でした。その後、大学で環境や森林について知識を深めていく中で、その思いは確信へと変わっていきました。卒業を控え、“就職するなら森林組合しかない”中村さんの熱い思いが森林組合に伝わり見事、職員として採用が決まりました。

現在の業務は、森林経営計画(地域の人々をとりまとめた山づくり)の策定から樹立までを担当。京丹後市と協力して地域に働きかけを行い、徐々に山に関心をもってもらえるようになってきました。取り組みを進める中で中村さんは、森林組合と地域の人々とのつながりの大切さに気づいたと語ってくれました。日頃の何気ない会話やコミュニケーションで信頼関係を育むことが山づくりへの第一歩なのかもしれませ

ん。  
森林組合に入社して約1年半。山を守りたいという気持ちにブレはありません。ただ、先の見えない難しさに直面しているのも事実ですが、「大学で学んだ知識や山岳部での活動が活かせるので仕事は楽しいです。いまは多忙な業務に追われて、目の前の仕事をロスなく効率的にこなすことが課題。最終目標ではないけれど、先輩方のように、なんでも出来るようになりたい。」と前向きです。

忙しい日々の中、時間があれば趣味の山登りで心身共にリフレッシュすることも忘れません。丹後の若き担い手として活躍が期待されるだけに、今後ますます目が離せません。

丹

後

の

星

★

編集発行

京都府協同組合連絡協議会

Kyoto Joint Committee of Co-operatives

J A(農協)・J F(漁協)・森林組合・生協

連絡先

京都府生活協同組合連合会

〒604-0851 京都市中京区烏丸夷川角

TEL(075)251-1551 FAX(075)251-1555